

# 大分大学 大学院理工学研究科（博士前期・後期課程） （設置構想中）に関するアンケート調査



企業の皆様向け

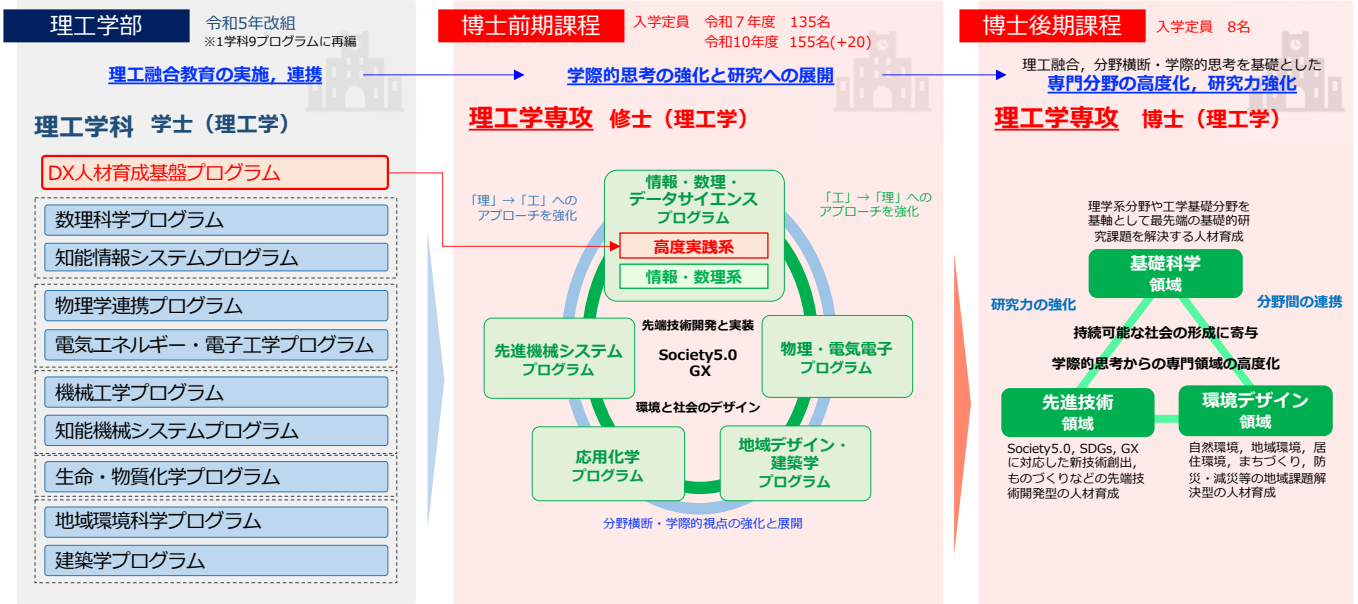
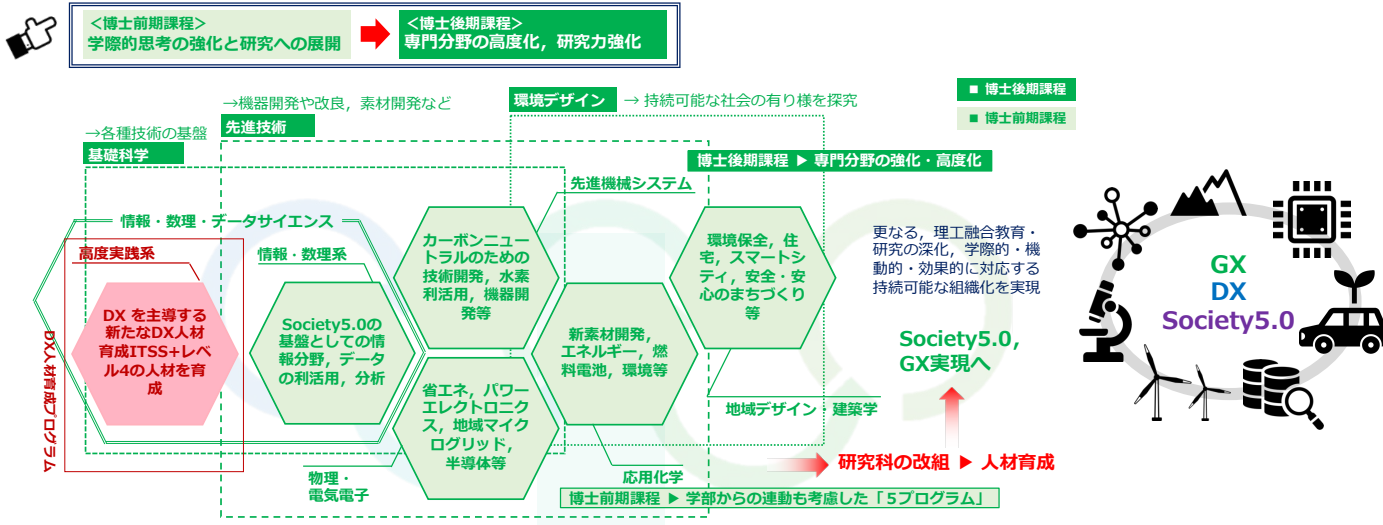
**アンケート回答フォームへのリンク** ▶ <https://forms.gle/npSXhXW6N7pdiYdi6>

※2024年5月22日（水）までにお願いたします

現在、大学院「工学研究科」の「理工学研究科」への改組（令和7年4月）を構想しています。理工学研究科ではこれまでの理工学部と工学研究科のリソースをベースとして、今日社会的に求められているGX, DX, そして実現すべき社会としてのイメージでもあるSociety5.0の具現化（図1）に寄与する、貢献しうる人材育成を目指すこととし、図2に示すような5つのカテゴリーにより博士前期課程を学部との連動を意識した「数理・情報データサイエンス（情報・数理系と高度実践系）」、「先進機械システム」「物理・電気電子」「応用化学」「地域デザイン・建築学」の5プログラムに再編します。また博士後期課程では、それらのプログラムで得た能力を専門分野の観点からより強化・高度化するために、各種技術の基盤となる「基礎科学」、機器開発や改良、素材開発などにつながる「先進技術」、そして持続可能な社会の有り様を探究する「環境デザイン」の3領域で構成することとしています。国や大分県の動向として、前記にしたようなGXやDXに関する取り組みはもとより、先端技術の活用による産業の活性化、研究力の向上などが掲げられており、大学院改組の目指す方向は一致しています。また、熊本への世界的半導体企業の進出に代表される国際的な競争が激化することも考えられ、今後国内の企業における技術開発の面でも、この研究力は重要となってくるのが想像に難くありません。

このようなことを前提として、企業の皆様に、工学研究科の理工学研究科への改組（大学院改組）に関するアンケート調査にご回答頂きたく、「5/22（水）」までにご回答をお願いいたします。

## リソースのカテゴリライズ → 理工学研究科への改組



▲ 図2 理工学研究科の構成



## 【改組に関する情報】

### ①学部学科等の名称

理工学研究科博士前期課程 理工学専攻 5プログラム | 理工学研究科博士後期課程 理工学専攻 3領域  
 ※改組前後の研究科の関係（改組前学部含む）についてはアンケートフォームに図示していますので、参考にして  
 ください。

### ②設置の理念、養成する人材像

（理念） 質の高い特色ある研究を通じて、不確実な時代においても世界に通用する科学技術を創造し、より良いか  
 つ持続可能な社会と地域の形成に貢献すると共に、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を養成する。  
（教育の目標） 不確実性の高い社会における諸課題を探求する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満  
 たす高度な専門知識を備えるとともに、学際領域に係る課題をグローバルな視点から複合・融合的に解決できる能  
 力と資質、そして豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成する。

### <養成する人材像>

#### - 博士前期課程

★情報・数理・データサイエンスプログラム（情報・数理系）：基礎情報学，計算機工学，知識科学及び数理科学  
 の相互作用によって生まれる専門知識を基礎として社会の諸問題を解決するとともに，データサイエンスを活用でき  
 る能力を有する情報技術者，研究者，教育者

★情報・数理・データサイエンスプログラム（高度実践系）\*：社会のデジタル変革に必要な実践的ITスキルを習  
 得して，新しい付加価値の創造を主導し，非常事態においてはデジタルインフラの速やかな回復・復興に寄与でき  
 るDX専門人材

★先進機械システムプログラム：最先端の機械・エネルギー・制御・情報工学，あるいはメカトロニクス分野のよ  
 り高度な知識と技術を習得し，高効率で環境負荷の低い機械の設計・開発や持続可能な社会を支える技術開発に貢  
 献できる技術者，研究者

★物理・電気電子プログラム：物理学および電気エネルギー・電子工学をより高度かつ融合的に学び，広い視野  
 と柔軟な思考力，探求力，活用力，研究・開発に携わる能力と課題解決能力を醸成し，持続可能なより良い社会を  
 支える創造性と専門性を備えた技術者，研究者，教育者

★応用化学プログラム：基礎化学の知識と物質・材料化学及び生物化学の高度な専門知識と技術を，分野横断的に  
 活用する能力を習得し，新規機能性材料開発，環境，エネルギーなどの諸課題解決に貢献できる技術者，研究者，  
 教育者

★地域デザイン・建築学プログラム：地域環境・防災，自然科学，環境科学，あるいは建築計画・都市計画，建築  
 環境・設備，建築構造，材料施工に関する高度な知識と技術を習得し，それらを分野横断的に活用できる技術者，  
 研究者，教育者

\*「DX人材育成プログラム」の大学院におけるプログラム

#### - 博士後期課程

★基礎科学領域：理学系基礎科学分野や工学系技術分野を基軸として，数理科学あるいは情報処理に関する高度な  
 知識・技術を修得し，非経験あるいは経験に基づく考察と体系化によって，新しい理論の確立あるいは新しい理工  
 学系基盤分野の創設に取り組み最先端の研究課題の解決に貢献できる技術者，研究者

★先進技術領域：機械，メカトロニクス，物理学，電気・電子，応用化学などの最先端の高度な知識・技術を修得  
 し，これらを用いて新規で実用性に富む物質・材料の創成，システムやデバイスの開発および高機能・高性能化に  
 取り組み，課題解決に貢献できる技術者，研究者

★環境デザイン領域：自然および都市を包括した地域循環共生圏における科学，生活環境および地域環境に関連す  
 る高度な知識・技術を修得し，地域循環共生圏における課題を見出し，その解決に取り組み，地域循環共生圏の発  
 展に貢献できる技術者，研究者

### ③設置場所、アクセス 大分大学旦野原キャンパス

④学生納付金 入学料：282,000円 | 授業料（年間）：535,800円（博士前期課程・後期課程共通）

### ⑤競合する大学院研究科の名称

富山大学大学院理工学研究科 愛媛大学大学院理工学研究科 鹿児島大学大学院 理工学研究科